

なかなか思い通りにならない社員への危機意識丸出し！

「大仕両 非常事態宣言」発令！

連日現場で苦勞をしている仲間の皆さん！

結局会社は「ヒューマンエラー」も「起床遅延」も社員個人の「規律と忠誠心の欠如」「モラルハザード」ですませようとしていると思いませんか？

「ヒューマンエラー」に対しては、新しい作業（取り扱い）に対する従前（十分）な講習（説明）や危険性を把握していたにもかかわらず、関係全社員への周知徹底がなされていなかったこと。

「起床遅延」に対しては、以前から会社が一方的に行なっていた「起床遅延対策」（〇〇時まで起床するように）が機能しなかったこと。

など会社（管理者）のミスには蓋をし、すべて社員の責任にしています。

- ①私たちの労働は、今日まで確実に強化され続けてきました。休憩時間の買い上げや変更は当たり前で、連日長時間の緊張感を持って業務（業務以外の活動も含む）に就いています。知らず知らずのうちに蓄積されたその疲労感は相当なものです。
- ②その肉体的、精神的な疲労感と緊張感は、一時的に解放されることを通じて回復されなければなりません。しかし私たちは、休憩時間さえ定められた時間に与えられず、休養室を使うにもシーツ交換や後片付けまで会社から強要されて、十分に体力・気力を回復させることができません。
- ③会社は、何か問題が発生すると、「プロとしての意識に欠ける」とか「モラルハザード」（これはユニオン指導部が言っていることですが！）などと言って、失敗をしてしまった人に矢印を向け、まるで悪者であるかのように問題にしますが、それは間違いだと思います。
- ④それは、よく失敗（いい加減な作業指示や点呼時のヘルメット忘れなど）をしている管理者のみなさんならわかっているはずです。
- ⑤一番大切なことは、現場で苦勞をして働くもの同士がお互いを思いやり、同じ過ちを発生・繰り返さないように気遣い・フォローし合うことだと思います。

人間である以上「ヒューマンエラー」はつきものです。それを重大事故・ケガにつなげないことが重要です。これはプロを超える仲間にはできないことだと思います。

先輩が後輩を！ 後輩が先輩を！

今まで以上に、同じ職場で働く仲間を大切に頑張らしましょう！